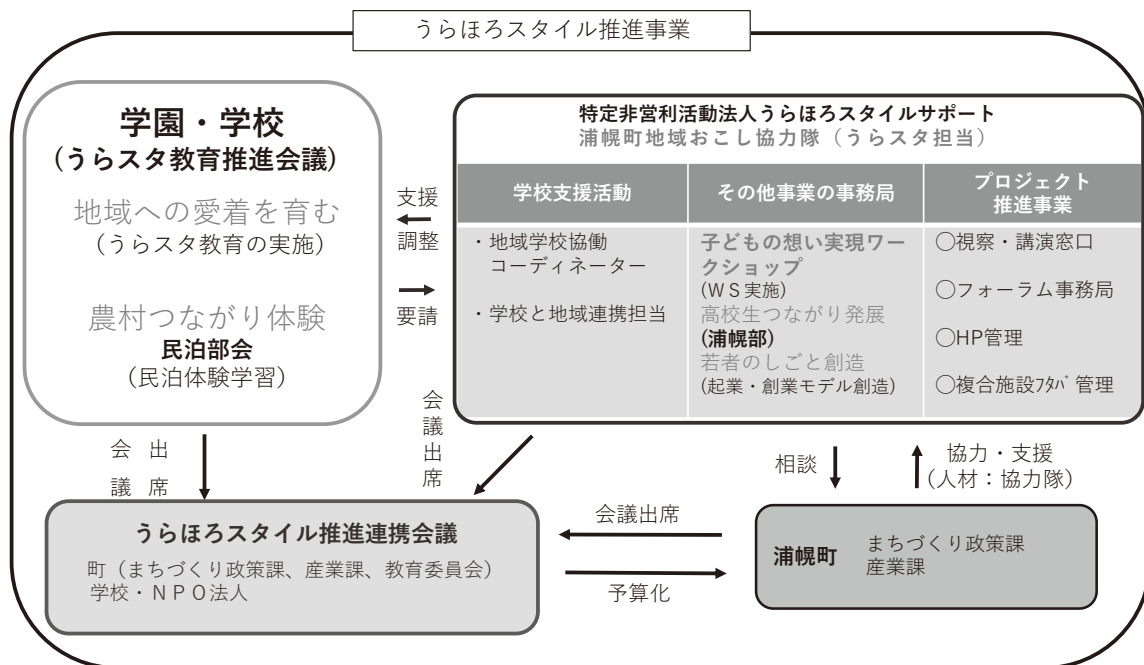


広報URAHOROで、「うらほろスタイルのご紹介」を始めて、本号で8回目となりました。  
 本号では、このうらほろスタイルの活動を、どんな方々が主体となり、支え、運営されているのかについて、これまでのおさらいも少し交えながら、ご紹介いたします。

うらほろスタイル推進事業の活動分担及び組織図  
 (第3期 H30～)



# うらほろスタイルのご紹介

vol. 8



うらほろスタイル教育推進会議

1 うらほろスタイル教育推進会議  
 初回となる1月号でご紹介した、「地域への愛着を育む事業」を主体となつて推進しているのが、「うらほろスタイル教育推進会議」です。これは町内の小中学校の先生方によって組織されています。  
 代表職である議長は、浦幌小学校の校長先生、事務局長は教頭先生がそれぞれ代々務められています。年に2回、町内の先生方が集まり、各学校で行われている取り組みについての情報交換を行い、それを各校に持ち帰り、より良いうらほろスタイル



民泊部会

2 民泊部会  
 3月号でご紹介した、小学生の民泊体験学習の推進母体は、先ほどご紹介したうらほろスタイル教育推進会議の下部組織である「浦幌町小学生民泊体験学習部会」通称「民泊部会」です。町内の小学校の先生方を中心に組織されています。浦幌小学校と浦幌中央小学校の校長先生

ル教育の推進を目指しています。



子どもの想い実現ワークショップ

が隔年交互に部長を務められてい  
ます。  
「民泊部会」を構成するのは先生  
方だけではありません。民泊体験学  
習の受け入れを行う、農林漁業者さ  
んたちを中心とした組織「うらほろ  
子ども食のプロジェクト」の会長さ  
んと事務局長さんも会議に参加いた  
だき、民泊体験学習を推進していま  
す。

**3 子どもの想い実現ワークショップ**  
2月号でお伝えした「子どもの想  
い実現事業」を主体となつて推進  
するのは「子どもの想い実現ワーク



浦幌部

ショップ」のメンバーです。様々な  
立場、役職、職業の方々によって構  
成されています。座長は町内の印刷  
会社の社長さんが務められていま  
す。副座長は、メンバーの中から選  
ばれますが、現在は役場にお勤めの  
方が担当されています。事務局は担  
当の地域おこし協力隊が日々務めて  
います。

**4 浦幌部**  
7月号で紹介した「高校生つな  
がり発展事業」の中でも大きな役割  
を持つのが「浦幌部」です。浦幌部  
は、町内出身・在住の高校生たちに

よつて結成された組織です。担当の  
地域おこし協力隊によるサポートを  
受けながら、浦幌を盛り上げるため  
商品開発やイベントへの出店・参加  
などを行っています。

**5 地域おこし協力隊（うらほろス  
タイル担当）とNPO法人うらほろ  
スタイルサポート**

これまでも何度か登場しています  
が、「子どもの想い実現ワークショップ」  
の事務局や「高校生つながり発  
展事業」における、高校生向け講座  
の企画・運営・実施、「浦幌部」の  
活動サポート、そして4〜6月号で  
ご紹介した「若者のしごと創造事業」  
の起業モデルづくりに挑戦（自ら起  
業）するのが、「地域おこし協力隊（う  
らほろスタイル担当）」の皆さんで  
す。現在は2名のうらほろスタイル  
担当が、裏方として活動を支えてく  
れています。

また、地域おこし協力隊とともに  
各事業の事務局や全体統括・コー  
ディネートを行うのが、「NPO法  
人うらほろスタイルサポート」です。  
「うらほろスタイル推進地域協議会」  
（平成20〜29年）から、役割を引き  
継ぎ、平成30年に設立されて以来、  
うらほろスタイルの活動を下支えし

ています。

**6 うらほろスタイル推進連携会議**

このように、うらほろスタイルの  
活動は、多くの主体組織や、下支え  
組織によって推進されています。そ  
れらの活動状況を共有する最も大き  
い会議体が「うらほろスタイル推進  
連携会議」です。今回ご紹介した事  
業の主体者や下支えする組織、役場・  
教育委員会などが一堂に会し、未来  
を担う子どもたちのために、より良  
いうらほろスタイルの推進を考えま  
す。

本号も最後までお読みいただきあ  
りがとうございました！



うらほろスタイル推進連携会議